

癌化学療法レジメン

氏名: _____

ID: _____

体表面積: _____ m² 体重: _____ kg

プロトコール名 **DMPB療法(2~9コース目)**

対象疾患 未治療の多発性骨髄腫

診療科 血液内科

施用者 _____

1 投与薬剤名、投与量、投与方法

	投与薬剤名	投与量	投与可能量(mg)	溶解、希釈液	投与方法
day1,22					
①	カロナー	1000mg(5錠)			ダラキューロ開始の1時間前から内服
	レナデックス	20mg(5錠)			
	d-クロルフェニラミ	2mg/錠(1錠)			
②	ダラキューロ	15mL/body			皮下注(特記事項参照)
③	ボルテゾミブ	1.3mg/m ²		1Vあたり 生食1.2mLに溶解	皮下注
day8,29					
①	ボルテゾミブ	1.3mg/m ²		1Vあたり 生食1.2mLに溶解	皮下注
day1,2,3,4					
①	アルケラン	9mg/m ²			内服、朝食後
day2,3,4					
①	プレドニン	60mg/m ²			内服、朝食後

2 投与方法の図式

3 投与スケジュール

1クール42日間。ダラキューロをday1,22に、ボルテゾミブをday1,8,22、29に
アルケランをday1~4、プレドニンをday2~4に行う。

4 特記事項

- ・ ダラキューロとボルテゾミブの間隔は10分間はあけること。
- ・ ダラキューロは臍から左又は右に15mLを3~5分かけて投与すること
- ・ ダラキューロは間接クームス試験への干渉が認められることがある。